



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報



意識を喚起し 進んで行動を

2000~2001年度 国際ロータリーのテーマ

第690回 平成13年 5月 9日(水)

[本日のプログラム]

1. 点 鐘
2. 国 歌 齊 唱
3. ロータリー ソング
「手に手つないで」
4. 「四つのテスト」 唱和
5. 食 事
6. 会 長 の 時 間
7. 幹 事 報 告
8. 委 員 会 報 告
9. 5月セレモニー
10. 会 員 卓 話
田村勝二君
11. 点 鐘

次回予告
★ 5月16日(水)
会員卓話
正岡文郁君

★ 5月23日(水)
ライラ準備会

佐土原ロータリークラブ
例会日 毎週水曜日 (12:30~13:30) 会長 梶田與之助
例会場 石崎浜荘 ☎0985-73-1913 副会長 吉田康一郎
事務局 宮崎佐土原大字下野原3887-17 幹事 宮原 建樹
☎880-0212 会計 後藤 明夫
TEL/FAX 0985-73-7170 会賛賛 池田 仁志

第689回例会記録 (2001. 4. 25)

☆会長の時間

会長 梶田 與之助君

皆さん今日は。

本日は第689回の例会です。

先週は私用のため、例会を欠席致しまして、申し訳ありませんでした。

さて、4月19日(木)宮崎中央RCの15周年記念式典が宮崎市の「ホテル神田橋」にて行われまして、出席致しました。その時の事をご報告したいと思います。

宮崎中央RCは、1986年4月10日、外山バストガバナー、柏原特別代表、市内4クラブの特別代表補佐の方々など、多くのロータリアンのご厚情と友愛によって創立されました。

1987年4月9日創立1周年でロータリーの「奉仕の理想」に値する人及び団体を表彰することによって、より良き社会の一助となるべく「くすの木賞」を制定されました。また、ローターアクトクラブ、インターラクトクラブを次々に設立され、青少年に対する理解と情熱に溢れるクラブだと感じました。

例会を10年以上無欠席の方が9名おられ、その中で15年無欠席の方が2名(秦喜八郎君、渡辺豊君)で、大変素晴らしいことだと思いました。

当日、第15回「くすの木賞」の表彰が行われました。受賞者は『ありんこ山の会』の松本晃、佐藤和夫両氏でした。

この団体は障害者を担架に乗せて、年1回韓国岳に登山されているボランティアのグループだそうです。最初は自分達だけで登山されていたそうですが、頂上

に達した時の満足感や感動、そしてその景色の素晴らしさ等を家にこもりがちの障害者の方々にも味わわしてやりたい…との思いでボランティア活動をされてい

るそうです。

障害者自身また家族の方々が、初めて頂上に立たれた時は感動のあまり、涙をされたとのことでした。一人の障害者を登山させるのに、前後8名の方々の援護が必要ということでした。

大変素晴らしい活動に感動いたしました。

我々ロータリアンも小さな事一つでも継続的なボランティアを実行していくものだと思った次第です。

また記念卓話で、初代会長の秦喜八郎氏が申された“ロータリーで心の友を作りなさい”という言葉がとても印象に残りました。

佐土原RCも2年後には15周年を迎える訳ですが、10周年ほど盛大ではなくても今後準備の必要性を感じました。

休会中の伊東忠寛会員から、下記のような便りが参りました。

拝啓 春暖の候、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

シーガイヤグループ三社が会社更生法の申し立て後、早三ヶ月が経過致しました。以来、皆様には大変ご迷惑とご心配をお掛け致しましたことに心より深くお詫び申し上げます。また、弊社に対しても何かとご心配いただき、その上皆様の暖かく力強い励ましを賜りました。その事が私どもにとりまして何よりも大きな支えとなりました。ほんとうにありがとうございました。おかげさまで新年度を

迎え、皆様のご期待にお応えするべく社員一丸となり、従来にまして本来の事業の推進に努め頑張っているところでございます。

どうか今後ともご愛顧賜りますよう、併せてシーガイヤグループの再建につきまして、さらなるご支援を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。先ずは、お礼傍、近況ご報告まで。

平成13年4月20日 (株)フェニックスグリーン

代表取締役 伊東忠寛
追伸 休会でご迷惑をお掛けしています。会員各位によろしくお伝え下さい。

☆幹事報告

幹事 宮原 建樹君

1. 例会変更通知

5月11日(金)の例会は早朝例会のため、時間をAM6:30～に変更

都城 RC
2. ライラの第1研修の釣り大会用の竹きりを手伝いして頂きました、皆様ご苦労さまでした。立派な釣竿が用意できました。本日の例会後、ライラ、レクレーション部の部会を開きます。4名の方々居残りをお願い致します。

来週の例会(5月2日)は特別休会になります。

☆出席報告

委員長 郡司 武俊君

会 員 数	27名
例 会 出 席 者	18名
出 席 率	67%

マークアップ者数	3名
修 正 出 席 率	78%
欠 席 者 名	健 雄 姫 茂

☆新世代委員会

委員長 恒吉 正志君

★ 新世代フォーラムについて

本日昼から、会長・幹事・私で町役場の教育長にお伺いして来ます。今、年によって遡って来るらしいのですが、ある中学校が凄く荒廃しているとのこと、PTA等に働きかけて貰い、新世代フォーラムの出席方をお願いしたいと思います

★ ライラについて

玄関に置く立て看板、会場に下げる横断幕、の見本が来ておりますので、お知らせします。

5月は色々行事が重なります。大変だろうと思いますが、どうぞ皆さんのご協力をお願いします。

☆会員増強委員会

委員長 江崎 富治君

会員増強の必要性は皆さん感じておられます。只今の所、藤堂会員が頑張っておられるようですが、4、5名のプロジェクトチームで勧誘しないとなかなか実績は挙げられないと思います。

梶田会長年度の目標の一つである、会員増強をこの年度で何とか、プラス3名をクリアしたいと希っております。

ご協力お願い致します。

■笑顔の功德

「精神のつづり」創作者 薩摩源藏

わが国には昔から「笑う門には福来る」という有名な諺があります。しかしまだ儒教や武士道の影響からか、人に笑われぬようにしろといったしつけや、喜怒哀楽色に現さずといった教えもあったりして、笑顔について理解が足らなかったうらみがあります。

笑顔はまず健康に深い関係があります。「笑顔は健康のもと」「笑顔で食膳に」「若返り法は笑顔から」などといわれておりますが、笑みを顔に浮かべれば、自然に心がなごやかになり、食事が進み、消化がよくなり、従って病気も驅逐します。怒った顔や不愉快な顔をしている時、食欲はなく、食べたものが胃にもたれるのと全く逆で、健康法として最良の方法であります。

最近、予防医学の研究から、精神が健康に大きな影響を及ぼすと説かれておりますが、ノイローゼやストレスにも笑顔が一番よい療法です。精神の最も安定した幸福の状態を表徵するのであります。

笑顔はまた、個人の健康ばかりでなく、人間関係においても大切であります。笑顔は人に好感を与えます。第一印象の大切なことがよくいわれますが、就職試験において、あるいは初めて人に紹介された時、相手に好感を与えるならどれだけ得でしょう。笑わぬ人は人に冷たい感じを与えますが、笑顔はその奥に潜む好意、親愛、ゆとりといった人間的な温かさによって相手の心をほぐすのです。それ故、笑顔に満ちた家庭は明るく、幸福であり、笑顔に満ちた社会は明るく、安

定しています。

笑顔はまた、文化のパロメーターであるといわれます。終戦時の、あの人々の笑いのない生活が、そのまま思想的、経済的に混乱した日本の姿を浮き彫りにしていましたし、一応思想的、経済的に落ち着いてきた現在、人々の表情にも笑顔がよみがえってきました。笑いには色々な種類があります。会心の笑い、泣き笑い、豪傑笑い、微笑、皮肉な笑い、冷笑、嘲笑など。しかし、皮肉な笑い、冷笑、嘲笑などは好ましくありません。

高尚な笑いでは仏教の拈華微笑(ねげれい)です。ユーモアで人を笑わすことのできる人は、教養があり、人間心理をよく知った人であります。笑顔の中で一番上品なのは微笑です。あの有名なモナ・リザの微笑を知らない人はないと思いますが、あの微笑こそ真善美の極地であります。あれだけの微笑は深い愛情、高い知性、豊かな感情がなければできません。笑いも結局、精神の深さが問題になります。「楽しいから笑う」のも本當なら「笑うから楽しくなる」のも本當です。笑いの少ない人はまず笑うことです。機会あるごとに笑顔を作るようすれば、それが身について来ます。それに日々鏡に自分の顔を写してみるのも一つの方法です。私はここに「笑いの修養」を提唱したいと思います。今頃の世相は、国内では争議、世界では原水爆戦争の恐怖ですが、これらも笑顔が広まれば、争議も柔らぐでしょうし、国と国との交渉も笑顔でされることになれば、世界の平和も実現しうるでしょう。そうなれば笑顔の功德も大であります。原水爆を発明するほどの人類の英知が、ヒューマニズムに徹して、笑顔で話し合え、理解しあえる時代のくることを念願してやまない次第であります。